

# 誰もが参加できる吉田寮祭を 一緒に作るために



吉田寮祭実行委員会は、性や出身などの属性に基づく差別や、ハラスメントを許さず、誰もが参加できる寮祭を作ることを目指します。そして、吉田寮祭を一緒に作りあげる皆さん一人ひとりに、協力を呼び掛けます。

## ❖ ハラスメントの予防について

誰もがハラスメントの加害者にも被害者にもなりえます。

「あなたの言動はよくないよ」「やめて」というメッセージを受け取ったら「自分は大したことではないと思うから」と無視するのではなく、まずはその言動をやめて、相手の話を誠実に聞きましょう。

嫌な思いをした人は、その場で言い出せず受け流すしかできないこともあります。嫌な思いをした人が声をあげられる環境を作るためには、周囲にいる人がハラスメントや誰かの「嫌」を無視しないことが大切です。

吉田寮祭パンフレットの、  
「グラウンドルール」(p8~9)  
「ハラスメントについて」(p10~11)  
「2015年の「ストーム」事件に関して、  
今年度の吉田寮祭を行う我々の立場」(p12)



2026年寮祭パンフレット電子版

に、参加者全員が具体的に気をつけておきたいことや、この場の取り決めについて書いています。必ずご確認ください。



2015年熊野寮祭企画ストームでのセクシャルハラスメントに対する吉田寮自治会の声明文

### SNSでの加害に注意

SNSなどインターネット上で差別発言をしたり個人情報などを拡散すること、流言蜚語や誰かが受けた被害を軽視する発言（二次加害）も、深刻な加害であり許されません。

被害を受けたり目撃した方は、寮祭実行委員会までお知らせください。

2026年吉田寮祭に参加の皆様へ

## ❖ ハラスメント相談窓口について Harassment Consultation Desk

2026年吉田寮祭では、ハラスメントが起きてしまった場合に迅速に対応するため、寮祭実行委員会の中に「ハラスメント対応チーム」をつくり、相談窓口を設置しています。

For the 2026 Yoshida Dorm Festival, we have established a “Harassment Support Team” within the Festival Organizing Committee and set up a consultation desk to ensure a swift response when any incidents of harassment occur.

**ハラスメントを受けたり目撃したり、何か困りごとや相談したいことがある方は、寮祭実行委員までお声かけいただくか、下記のメールアドレスまでご連絡ください。**

それがハラスメントかどうか自信がなくても、嫌な思いをしたりもやもやを感じたときは、ためらわずご相談ください。対応チームのメンバーがお話を聞き、あなたの意向を尊重しながら、何ができるか一緒に考えます。ご相談いただいたことについて、許可なく他の人に話すことはありません。

If you have experienced or witnessed harassment, or if you have any concerns or something you would like to consult with the members, please contact Festival Organizing Committee members directly or send an e-mail to the following e-mail address of the consultation desk. Even if you're unsure whether it constitutes harassment, when you feel unsafe or uneasy, please feel free to reach out for consultation. Support team members will listen to your concerns and work with you to consider what can be done, while respecting your will. We will not tell others about your consultation without your consent.

※ 対応チームのメンバーの大半は日本語話者ですが、日本語以外での相談に関しても、通訳者を探したり翻訳ソフトを利用し、対応するよう努めます。

※ Although most of us are Japanese speakers and are not proficient in other languages, we will make every effort to consult with non-Japanese users by finding interpreters and using translation apps.



2026年吉田寮祭に参加の皆様へ

寮祭実行委員は腕にピンクのテープを着けています。

All Festival Organizing Committee members wear a pink tape.

ハラスメント対応チームのメールアドレス

E-mail address of the Support Team : [ryosai2026soudan@gmail.com](mailto:ryosai2026soudan@gmail.com)

## ■SAFER SPACEについて

寮祭期間中は、「**SAFER SPACE**」というクローズドなスペースを設けています。

- ・疲れたり嫌な思いをした時、離れた静かな場所で休みたい。
  - ・一人になりたい。
  - ・相談したいことがあるので、他の人に聞かれる心配がない場所で話したい。
- こうした時に、誰でも利用することが可能です。

「SAFER SPACE」を利用したい人も、寮祭実行委員までご連絡ください。

During the dorm festival, we have a closed room called “**SAFER SPACE**”.

Anyone can use the “SAFER SPACE” at such times.

- When you are tired or have a negative experience
- When you need a quiet place away from the festival to rest
- When you want to be by yourself
- When you need to talk about something, and you want to do so in a place where you don't have to worry about other people hearing you.

If you would like to use the “SAFER SPACE,” please get in touch with us.

被害を受けている方の人権が守られることが大切です。寮祭実への相談が難しい場合には、以下のような寮外の相談窓口もあります。

- ・ウィングス京都：075-212-7490
- ・京都SARA：075-222-7711、[kyotosara@iaa.itkeeper.ne.jp](mailto:kyotosara@iaa.itkeeper.ne.jp)
- ・京都大学ハラスメント相談窓口（大学構成員に限る）

寮祭実としても、必要な場合は寮外の機関と連携したり、外部機関への相談を支援します。

また、緊急時など必要な場合には、警察や救急への通報もためらわないでください。（警察・救急への通報に際しては、円滑な対応を行えるよう、可能な限り寮祭実へご一報いただければと思います）

## ❖ ハラスメントへの対応ポリシー

もしも寮祭においてハラスメントが起きてしまった場合、被害者の安全や権利の回復を第一の目的として、被害者の意向と自己決定を尊重しながら対応を行います。

迅速な対応を行うために、吉田寮祭に参加する人は、以下のことをご理解ください。

1. ハラスメントは、当事者間解決の前提となる「対等な関係性」を破壊します。寮祭中にハラスメントと疑われる問題が起きた場合、被害者の意向や必要性に応じて、吉田寮祭実行委員会が介入し対応に当たります。
2. 加害を訴えられた人が注意を受けても加害行為を繰り返したり、対応への協力を拒否する（聞き取りに応じない等）場合、寮祭実行委員会として、それ以降のイベントへの参加をお断りする場合があります。
3. 寮祭中に発生したハラスメント・またハラスメントと疑わしき事案に関して、寮祭期間内に聞き取りや調停といった対応が完了しなかった場合、寮祭終了後も、寮祭実行委員会が継続して対応に当たる場合があります。
4. ハラスメント事案について、被害者本人の了解を得ずに被害に関わる情報を他者に共有・拡散することやオープンなスペースで話題にすること（対面／オンラインを問いません）、被害を軽視する言説（「大したことはない」「気にしすぎだ」など）を流布することは、たとえ直接伝えられたものではなかったとしても被害者に著しい不利益や苦痛を与え、迅速な対応を妨げることに繋がります。自身が直接の当事者でない場合も、こうした言動を行わないよう、注意してください。



2026.05.22

文責：吉田寮祭実行委員会